

令和2年度 第3回

宍粟市教育委員会

# 会 議 録

(要点筆記)

日時 令和2年6月25日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 401・402会議室

## 第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録

### 1 開会・閉会の年月日時及び場所

令和2年6月25日（木） 午前9時30分～午前10時40分  
兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

### 2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

西岡章寿	教育長	金本一二	委員
片山繁樹	委員	中山由香里	委員
中田直人	委員		

事務局

大谷奈雅子	教育部長	山本信介	教育部次長
世良繁信	次長兼学校教育課長	中尾善弘	次長兼こども未来課長
西林文隆	次長兼施設整備課長	進藤美穂	教育総務課長
水口恵子	社会教育文化財課長	池本雅彦	学校給食センター所長
小河秀義	市民協働課長	西田征博	人権推進課長
太田雅章	教育総務課副課長		

### 3 開会

西岡教育長が開会した。

### 4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

### 5 会議録署名委員の指名

署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

片山委員

### 6 前回会議録の承認

令和2年度第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件  
前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、進藤教育総務課長が説明し、承認された。

### 7 教育長報告

次の4点について西岡教育長が報告した。

#### (1) 教育環境整備について

はりま一宮こども園の4月開園に伴い旧神戸幼稚園を閉園したことから、幼稚園園舎・遊具の解体撤去工事を実施します。

6月17日に入札を行い、請負業者は山崎建設建材株式会社に決定しました。請負金額は19,690,000円で、工期は10月15日までとなっています。

なお、幼稚園跡地は、園舎解体撤去後、別工事で敷地の約半分をはりま一宮こども園の第2グラウンドに、残り半分を職員及び保護者送迎用の駐車場として整備する予定です。

## (2) 令和2年度宍粟市一般会計6月補正予算について

第2回教育委員会で市議会へ提出する議案としてお諮りしました、教育用タブレットパソコン等購入費及びシステムアップ業務委託料等についての6月補正予算については、6月18日に可決いただきました。これによりまして、今年度中に市内全小中学校児童生徒への「1人1台端末」の整備ができる予定です。

## (3) GIGAスクール構想について

GIGAスクール構想による「1人1台端末」整備の教育用タブレットパソコンについて、兵庫県での共同購入の入札が6月19日に行われ業者が決定しました。この入札は当初予算分の小学校5・6年生、中学1年生分の購入になります。残りの学年の分についても今年度中に整備できる予定であり、導入の準備を進めていきます。

## (4) 要保護・準要保護児童生徒の認定状況について（5月末現在）

要保護児童生徒については12人、準要保護児童生徒については241人の認定を行っています。申請は261人あり、その内の8人は不認定となりました。理由はいずれも所得基準を超えていることによります。

## 8 協議報告事項

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策（教育委員会関係）について

資料1「新型コロナウイルス感染症に係る対応について（教育部）」により、山本教育部次長が説明した。

### (2) 小中学校・幼稚園・こども園（幼稚園部）の夏季休業日の変更について

資料2「宍粟市立学校管理規則（抜粋）」等により、小中学校、幼稚園及びこども園（幼稚園部）の夏季休業日の変更について世良次長兼学校教育課長及び中尾次長兼こども未来課長が説明した。

### (3) 国の令和2年度補正予算（新型コロナウイルス感染症対策関係経費）の概要について

資料3「学校の段階的再開に伴う児童生徒等の学びの保障」等、国の補正予算にかかる説明資料に基づき、進藤教育総務課長、世良次長兼学校教育課長、西林次長兼施設整備課長、中尾次長兼こども未来課長及び池本学校給食センター所長がそれぞれ説明した。

(4) 令和2年度宍粟市スポーツ推進委員について

資料4「令和2年度宍粟市スポーツ推進委員名簿」により、小河市民協働課長が説明した。

(5) 波賀B&G海洋センターのプール営業休止について

(6) 第16回宍粟市ロードレース大会の日程変更について

波賀B&G海洋センターについて、スタッフ確保の面からプールを当面営業休止にせざるを得ない状況であること、また、第16回宍粟市ロードレース大会の日程変更については、市総合防災訓練との日程調整の関係から、令和2年11月22日から同年11月29日に変更することを、小河市民協働課長が口頭により説明した。

(7) 「S1グランプリ2020」作品募集について

資料5「S1グランプリ2020チラシ」により、西田人権推進課長が説明した。

(8) その他

- ・令和2年8月7日に予定されていた巡回ラジオ体操公開放送については、新型コロナウイルスの影響により中止が決定したことを、小河市民協働課長が口頭により説明した。
- ・現在、市役所4階で教科書展示会を開催しており、多くのご意見をいただきたい旨世良次長兼学校教育課長が口頭により説明した。

## 委員の主な意見及び事務局の説明

(金本委員)

6月1日から学校が再開となり給食の提供も始まったとのことであるが様子をお伺いしたい。

(池本学校給食センター所長)

県からの方針が示されたのが5月22日付けであり、食材の発注が日程的にも難しい状況であり、あわせて配膳の対策も講じることとして1品少なくしたかたちでの提供としている。

(片山委員)

夏季休業の短縮について、2点意見をさせていただく。1点目として、例年より3週間登校日が延長され一番暑い時期に登下校することになるが、暑さ対策はどのように考えられているか。2点目として、スクールサポートスタッフによる見守りというところで、どの学校でも防犯パトロールとして老人クラブの方々が中心となって自主的に活動いただいている。暑い時期の活動が増えるということで用心しなければならないと感じており、自治会からも無理のないように活動していただくようお願いもしている。その中で、学校の下校時刻について、予定時刻よりも遅れることがあるという話も聞いているので、防犯パトロールをしていただく方々の暑さ対策として時刻の徹底をしていただきたいと考えている。

(世良次長兼学校教育課長)

1点目の件について、特に暑い時期の対策として8月3日から8月21日までについては、午前中のみの授業とすることとしている。また、いちばん暑い時間帯に下校することがないように

早めに授業を終わって午前うちに帰宅できるような配慮を学校長にお願いしている。また、新型コロナウイルス感染症対策として、サーキュレーターや工事を伴わない空調機器の購入、熱中症予防のための塩タブレットなどの購入も国の補助事業を活用させていただくこととしている。また、通常より早い時間の登校を行うなど柔軟な対応についても検討を行っていく。2点目の件については、本日、校長会を開催することとしているので、下校時刻の徹底について依頼をさせていただく。

(進藤教育総務課長)

小学校の暑さ対策として、通学距離が一定以上ある児童について、学校より通学路変更届を提出していただき、自費ではあるが、公共交通バスを利用して下校することについて特例で許可することを検討している。

(片山委員)

学校再開まで3か月近く子どもたちは自粛していたため、学校がストレス発散の場となって今まで以上に精神的なコントロールが難しくなるのではという懸念もある。国の補助事業の加配教員の追加配置については、学びの保障だけでなく、子ども一人ひとりの見守りも十分に考えながら進めていってほしい。

(世良次長兼学校教育課長)

学校再開後、実際として生徒指導上の課題は増えており、教育委員会事務局としても対応に追われている状況にある。宍粟市では学校サポートチームがあり、スクールソーシャルワーカー、青少年育成センター相談員や適応指導教室相談員の構成でひとつのチームをつくり対応するようにしている。また、今年度から公認心理士を新たなメンバーとして加え、活動・助言ができる体制を整えている。学校で新しく認知された生徒指導上の課題や先生方への支援、児童生徒やその保護者への支援について、これまで以上にきめ細やかに対応できるのではないかと考えている。

また、教育長からも各学校長に対して、先生方が授業が遅れているので少しでも早くして取り戻そうと焦って授業を詰め込んでしまうと、より子どもたちの精神状態が不安になったり焦りにつながったりするので、そういうことがないように時々息も抜きながら、授業日数については夏季休業の短縮によりカバーできるので、焦らずにゆっくりと子どもたちと向き合っていたきたいということも言われている。

(教育長)

学校が再開されて、先週から今週にかけて生徒指導の課題もでてきているが、6月2日に人事評価育成システムの校長ヒヤリングを実施したときに、これは良いほうの話になるが、3月まで不登校であった子の大部分が、長い学校休業を経て6月から学校に来ているという報告も受けている。

(金本委員)

スクール・サポート・スタッフの追加配置について、資料には人材としては地域の方々や基本的には特別な資格は必要ないと明記されているが、どのように募集をされているのか、また、教室の換気や消毒だけ行いますといった場合には一日何時間の勤務になるのか教えていただきたい。

(世良次長兼学校教育課長)

スクール・サポート・スタッフについては特に要件はない。学校を助けてやろうと思っていただける方であればどなたでも参加いただけるものである。また、1日4時間までの勤務となるが、必ず4時間という決まった時間での職種ではないので、1時間でも2時間でも助けていただけるのであればありがたいと思っている。できれば学校の事を分かっている方をお願いしたいと考えていることから、学校の方で人材の確保に取り組んでいただいているところである。

(中山委員)

加配教員、学習指導員やスクール・サポート・スタッフの追加配置について、各学校へ必ず配置されるという考え方でよいのか。

(世良学校教育課長)

加配教員の追加配置については、兵庫県では新学習システムですでに加配教員の配置があり、週の勤務時間を拡大するなどの対応を想定している。また、学習指導員については、中学校1名、小学校2名ずつの配置ということで説明を聞いている。最後にスクール・サポート・スタッフについては各学校1名の配置ということになるが、市ですでに配置している学校には追加配置はない。なお、6学級以上の規模の学校が追加配置の対象となる。

## 9 次回会議の招集について

令和2年7月16日(木)午後3時から、令和2年度第4回宍粟市教育委員会を開催するとした。

## 10 閉会

金本委員が閉会した。

以上 午前10時40分終了